

【後援】
横浜市医療局・
こども青少年局

市民公開講座

社会で赤ちゃんを包み込む ～早産児のこと知っていますか？～



7月11日(土) 13:00～14:30

パシフィコ横浜 会議センター 第3会場 502会議室

申込 不要

参加費 無料

対象 子育て世代、赤ちゃんに関わるすべての方

『世界早産児デー』って
知っていますか？

小さく生まれた
赤ちゃんは、どう育つの？

どうして早産になるの？
予防できるの？

小さな赤ちゃんは
生まれたらどう過ごすの？

小さく生まれた赤ちゃんと
家族の歩み



早産児は37週未満で生まれた赤ちゃんのこと



市民公開講座
Zoomリンク



PASS : 650568

日本NICU家族会機構



一般社団法人
日本周産期・新生児医学会
JSPNM Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine



市民公開講座

社会で赤ちゃんを包み込む ～早産児のこと知っていますか？～

【開催日時】 7月11日（土）13:00～14:30

【会場】 パシフィコ横浜 会議センター 5階 第3会場 502会議室

【Zoom】



<https://us02web.zoom.us/j/83020547573?pwd=8VgPFarRnlYguETmMAfaH66L6zEblJ.1>

パスコード：650568

【企画趣旨】

11月15日は世界早産児デー（World Prematurity Day）です。2008年に欧州のNICU家族会によって世界早産児デーが制定され、2025年には早産児へのケアと予後の改善が世界的な公衆衛生上の課題と認められ、WHO公式の世界保健キャンペーンとなりました。日本周産期・新生児医学会は昨年度より世界早産児デーのワーキンググループを設置し、早産の啓発活動、早産児を取り巻く課題について社会的な認知を高めようとして取り組んでいます。

第62回日本周産期・新生児医学会学術集会に先立ち、市民公開講座を開催します。この市民公開講座の目的は当事者家族、市民の方々と学会会員が一緒になって、世界早産児デーが社会に認知されるために何が必要かを考え、早産の予防や早産児を取り巻く多様な課題に社会がどう取り組んでいけばよいかを考える、となります。多くの市民および学会会員が足を運んでくださることをお待ちしております。

【座長】

高田 幸成（国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター新生児内科）

杉浦 弘（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター新生児科）

【演者】

村元 勤（信州大学小児環境保健疫学研究センター）

池ノ上 学（慶應義塾大学病院産婦人科）

竹内 章人（国立病院機構岡山医療センター新生児科）

内海 加奈子（東京都立墨東病院NICU看護部）

ゴーウィン かおり（日本NICU家族会機構；JOIN）